

●実施結果

1 大会結果

- ・総合時間賞 JEANNIERE Emili en (TOTAL ENERGIES)
- ・ポイント賞 JEANNIERE Emili en (TOTAL ENERGIES)
- ・山岳賞 YAMAMOTO Genki (KINAN RACING TEAM)
- ・新人賞 NERURKAR Lukas (EF EDUCATION
-EASYPOST)
- ・チーム賞 TOTAL ENERGIES

2 観客動員数、経済波及効果

観客数101,000人、経済波及効果2,649,600,000円が算定されました(日本政策投資銀行)。

3 地域貢献への取組み

- (1) 地域課題解決プログラムを通じ、次世代を担う若者の地域理解、シビックプライドを醸成

マイナビの探求学習プログラム“locus”を導入した「マイナビ ツールド・九州locus」に12校、391名が参加しました。「住み続けたくなる街にするために、自分達は何ができるか？」をテーマに、企業31社の協力により各学校に訪問しての講義、意見交換を通じて、地域に対する理解を深め、シビックプライドを醸成する取組みを行いました。

また、ブリヂストンによる自転車競技のパラリンピアンによる講演会、第一生命保険による子ども自転車教室が開催されました。

- (2) 環境負荷低減

エコギアである自転車とクリーンエネルギーの親和性をさらに重層的なものにするため、トヨタ九州の協力で、FCEV(燃料電池車)を大会競技車両として運用しました。

またサントリーフーズ「サントリー天然水」を大会公式ドリンクとしてPR、提供することで、地域水資源の活用・保護に取り組みました。

- (3) 健康増進

サイクルスポーツの普及、自転車活用推進計画の推進を目的として、大会PRも兼ねたファンライドを各開催県及び地域団体と連携して開催しました。

また福岡ステージにおいては九州旅客鉄道の協力により、大会と連動したウォーキングイベントを開催しました。

(4) DXによる事業推進

K-r o b o tと地図情報システムを開発し、コース設計の効率化を進め、競技車両の位置や交通規制情報を提供しました。また、会場内のキャッシュレスを推進するため、アイティフォーの決済端末を活用しました。

(5) 「能登半島地震 海士町災害義援金」への寄付

令和6年、国内で最も甚大な被害を受けた能登半島地震の復興を支援するため、大会で販売した有料観戦エリア入場チケットの売上金のうち、500,000円を、福岡ステージの開催地である福岡県宗像市の宗像漁業協同組合を通じ、石川県輪島市海士町自治会（漁業協同組合）に寄付しました。